

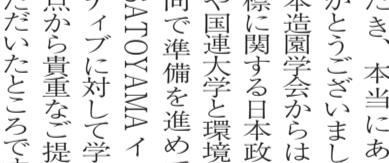
特集

第37回全国造園デザ

応募範囲の

入選 田中 秀樹 日本大学
(大学生の部・公共的空間部門)入選 市川 裕子 E & Gアカデミー東京校
(大学生の部・住宅庭園部門)入選 久世 安樹 NAYA設計室
(一般の部・住宅庭園部門)入選 野村 香奈 滋賀県立八日市南高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 坂田 由里香 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 久賀 瞳 滋賀県立八日市南高等学校
(高校生の部・街区公園部門)入選 太田 涼子 山口県立宇部西高等学校
(高校生の部・住宅庭園部門)入選 桶口 翔子 長野県須坂園芸高等学校
(高校生の部・公共的空間部門)入選 東 幹久 滋賀県立八日市南高等学校
(高校生の部・街区公園部門)入選 野々口 貴文 京都府立農芸高等学校
(高校生の部・実習作品部門)入選 岩野 紗也加 埼玉県立熊谷農業高等学校
(高校生の部・実習作品部門)

名古屋議定書採択の瞬間



名古屋議定書採択の瞬間

造園分野の産業、学術、行政の関係者の皆さんに
もCOP10と国際生物多様性年に對して様々な形で
ご支援、ご協力いた
だき、本当にあり
がとうございました。

本造園学会からは愛知目
標に関する日本政府提案
や国連大学と環境省が共
同で準備を進めてきた
SAIYAMAイニシア

ティブに対し、学術の觀
点から貴重な提案をい
ただいたところです。

本造園学会からは愛知目
標に関する日本政府提案
や国連大学と環境省が共
同で準備を進めてきた
SAIYAMAイニシア

ティブに対し、学術の觀
点から貴重な提案をい
ただいたところです。

今年2011年から10年間を国際社会、市民社会が一
つとなつて愛知目標を達成していくための重点期間とし
て、「国連生物多様性の10年」とする決定が昨年末の国連

総会でなされました。COP10の成果を実現するための国
内、国際両面からの取り組みの展開に向けて、皆さまのご
協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(社)日本造園学会理事・環境省自然環境局長 渡邊 繩男

はみられましたが、個々の
活躍されることを期待して
おります。

努力に対して感謝いたしま
す。今後も多くの応募をお
願いするとともに、多くの
若者が造園業界において、
「散策ゾーン」、「芝生広場の
陽だまり広場ゾーン」、流
れを中心にした「水のせせ
らぎゾーン」の3つのゾー
ンに分かれ、広く利用者に
親しまれる作品でした。

全体的に作品のレベル差

れなかつた方々も含
め、参加された全
の皆様が、造園界で
新しい時代の開拓に
貢献されんことを期
待します。

■村岡政子委員(社
ラントスケープコン
サルタンツ協会監事)
今年も、素晴らしい
校生、大学生、若手造園家
の方々の生き生きとした作
品を拝見し、造園を志した
頃の新鮮な感覚が蘇つてくれ
るよう感じました。入選

■太田涼子(社)兵庫県立大学大学院の王
芸潔さんは、この春に大学
院修了後、ゆくゆくは中国
へ戻り、ラントスケープ計
画設計の仕事に就きたいと
話しておられました。日本
で学んだことを生かして、
母国での活躍を祈念いた
します。

また、関係者の方々の永
年にわたる熱意とご努力に
心から敬意を表します。

■卯之原昇委員(社)日本造
園建設業協会技術副委員
長
今回も多くの応募(一般
5名、大学生15校122名、
高校生31校220名)をして
いただきました。

その中から、(社)日本造
園建設業協会長賞には、高校
生の部、街区公園部門の木
藤美知香さん(長野県須坂
園芸高等学校)の「街の中
の風を感じる公園」が選ばれ
ました。

会議では、重要な議題であつた生物多様性に関する
新しい世界目標としての「愛知目標」や遺伝資源への
アクセスと利益分配(ABS)に関する「名古屋議定
書」が最後の最後に採択されました。さらに保全と豊
かな開発の両立を目指して自然と調和した持続可能
な土地利用や資源利用の実践を進めるSATOYAMA
イニシアティブの取り組みをはじめ、数多くの重要な
決定を生み出すことができました。これは各国が意見
の違いを乗り越えて地球益のために歩み寄った結果
といえます。同時に政府以外にも、自治体、NGO、
企業、研究者、議員、ユース、国際機関など多様なセ
クターの貢献があつたことも成功の大きな要因とな
りました。

造園分野の産業、学術、行政の関係者の皆さんに
もCOP10と国際生物多様性年に對して様々な形で
ご支援、ご協力いた
だき、本当にあり
がとうございました。日
本造園学会からは愛知目
標に関する日本政府提案
や国連大学と環境省が共
同で準備を進めてきた
SAIYAMAイニシア

ティブに対し、学術の觀
点から貴重な提案をい
ただいたところです。

今年2011年から10年間を国際社会、市民社会が一
つとなつて愛知目標を達成していくための重点期間とし
て、「国連生物多様性の10年」とする決定が昨年末の国連

総会でなされました。COP10の成果を実現するための国
内、国際両面からの取り組みの展開に向けて、皆さまのご
協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(社)日本造園学会理事・環境省自然環境局長 渡邊 繩男

はみられましたが、個々の
活躍することを期待して
おります。

努力に対して感謝いたしま
す。今後も多くの応募をお
願いするとともに、多くの
若者が造園業界において、
「散策ゾーン」、「芝生広場の
陽だまり広場ゾーン」、流
れを中心にした「水のせせ
らぎゾーン」の3つのゾー
ンに分かれ、広く利用者に
親しまれる作品でした。

全体的に作品のレベル差

住宅庭園計画図

設計主旨
「公私に隣地内に設計基準を行う。外構の壁面に考慮し、障壁等を用いた。」
平面図 S=1:50
外構透視図

全国高等学校造園教育研究協議会長賞 吉田 健
広島県立西条農業高等学校(高校生の部・住宅庭園部門)

実習作品

全国高等学校造園教育研究協議会長賞 落合由美子
長野県須坂園芸高等学校(高校生の部・実習作品部門)審査委員長特別賞 飯野 英美里
東京農業大学短期大学部(大学生の部・実習作品部門)

のオアシス空間」を選出し
ました。

当作品は、香りの木々の
「散策ゾーン」、「芝生広場の
陽だまり広場ゾーン」、流

れを中心とした「水のせせ
らぎゾーン」の3つのゾー
ンに分かれ、広く利用者に
親しまれる作品でした。

全体的に作品のレベル差

学会の目・眼・芽

第21回

れを中心とした「水のせせ
らぎゾーン」の3つのゾー
ンに分かれ、広く利用者に
親しまれる作品でした。

※入選作品等は、日造協
ホームページでも公開して
います(www.jalcor.jp)。

COP10の成果と今後の展開方向

COP10の成果を受けて、日本の新しい自然環境行政を
切り開いていくことが必要です。愛知目標の2050年の
長期ビジョンには、日本提案も受けて「人と自然の共生す
る世界」が掲げられ、そのもとに2020年までのミッショ
ンと20の個別目標が設けられました。この愛知目標を受け
た生物多様性国家戦略を2012年秋までに関係府省と共に
会議場内で約350の関連サイドイベントが開かれたほか
か、会議場隣接地で実施された生物多様性交流フェア
ではNGOや関係団体、自治体、政府機関などの展示
ブースにおよそ12万人の方が訪れました。日本造園学
会のCOP10学生会議も半年以上にわたって議論を
重ねてきた成果を展示するブースで発信しました。日本
では学んだことを生かして、母国での活躍を祈念いた
します。

また、関係者の方々の永
年にわたる熱意とご努力に
心から敬意を表します。

会議では、重要な議題であつた生物多様性に関する
新しい世界目標としての「愛知目標」や遺伝資源への
アクセスと利益分配(ABS)に関する「名古屋議定
書」が最後の最後に採択されました。さらに保全と豊
かな開発の両立を目指して自然と調和した持続可能
な土地利用や資源利用の実践を進めるSATOYAMA
イニシアティブの取り組みをはじめ、数多くの重要な
決定を生み出すことができました。これは各国が意見
の違いを乗り越えて地球益のために歩み寄った結果
といえます。同時に政府以外にも、自治体、NGO、
企業、研究者、議員、ユース、国際機関など多様なセ
クターの貢献があつたことも成功の大きな要因とな
りました。

造園分野の産業、学術、行政の関係者の皆さんに
もCOP10と国際生物多様性年に對して様々な形で
ご支援、ご協力いた
だき、本当にあり
がとうございました。日
本造園学会からは愛知目
標に関する日本政府提案
や国連大学と環境省が共
同で準備を進めてきた
SAIYAMAイニシア

ティブに対し、学術の觀
点から貴重な提案をい
ただいたところです。

今年2011年から10年間を国際社会、市民社会が一
つとなつて愛知目標を達成していくための重点期間とし
て、「国連生物多様性の10年」とする決定が昨年末の国連

総会でなされました。COP10の成果を実現するための国
内、国際両面からの取り組みの展開に向けて、皆さまのご
協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(社)日本造園学会理事・環境省自然環境局長 渡邊 繩男

はみられましたが、個々の
活躍されることを期待して
おります。

努力に対して感謝いたしま
す。今後も多くの応募をお
願いするとともに、多くの
若者が造園業界において、
「散策ゾーン」、「芝生広場の
陽だまり広場ゾーン」、流

れを中心とした「水のせせ
らぎゾーン」の3つのゾー
ンに分かれ、広く利用者に
親しまれる作品でした。

全体的に作品のレベル差

